

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	取り組み状況
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		1	4	クラスの人数や活動内容(特に運動)によって狭く感じるが多い。
	2	職員の配置数は適切であるか		3	2	2つのグループの支援を並行して行っているので手が足りていない。グループの人数によっては3人が常に支援できる体制が必要
	3	事業所の設備等について、利用児に応じた配慮が適切になされているか		2	3	設備は足りておらず、職員の手作りや他事業所から借りて補っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	3	1	業務における事業所目標と個人の目標はリンクできていて、個人と管理者による振り返りはできているが、職員全体による振り返りの機会があまり設定できなかった。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2		アンケート結果から業務改善を行っている。ただ、詳しい意見や要望を聞き取ることは難しいので、支援計画説明時に前年度の取り組みで不十分であった点について確認することも検討したい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1		毎年HPで公開している。保護者にも周知する必要がある。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	2	外部評価は実施しているものの、その結果について職員間で検討する機会が必要。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		1	研修内容や方法に対する職員のニーズに基づいた研修が必要。今年度から小児リハとジュニアクラブ双方の職員が対象児童の観察をとおしてケース会議を行う。具体的・実践的な研修の機会として継続
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	2		・利用児の具体的な目標や課題について職員間の共有が未だ不十分である。 ・計画作成に十分な時間が確保できていない。病院で実施した発達検査等を参考にしているが、事業所でも職員が簡単に使用できるツールを利用する必要がある。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		1	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1	1	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	3	1	長期休暇は普段と異なる活動を設定しているが、細やかな設定とは言えないかもしれない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	2	1	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	3	1	日々の活動後は時間がいないため、次の日に振り返りをしている。2グループ同時進行なので自分の担当していないグループの様子をよくわからない状況。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1		今年度は前期と後期の支援計画の説明の間に、中間面談を設け、計画の見直しの参考にした。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	2		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2		今年度から児発管のほかに1名が会議に参加するよういした。時間が捻出できればスタッフ全員がかかわるようにしたほうが望ましい。
	21	学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	5			

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3		医療的ケアが必要なお子様を受け入れていない。
	23	利用していた児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3		2	引継ぎのシステムを作る必要がある。
	24	他の放課後等デイサービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1		4	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や活動する機会があるか			5	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		1	4	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			
	29	保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	2	実技的な支援などは十分に行えていない。研修に行った職員を中心に個別的なアドバイスはしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	4	コロナの為、保護者会は開催できなかった。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	1	会報ではないが、活動予定表などをメールで送り、待合室にも掲示している。また、事業所HPIにブログを掲載し、利用児たちの具体的な活動の様子を分かりやすく伝えるようにしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			
	36	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	4	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	4		保護者への周知ができていなかった。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1	1	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4		1	身体拘束が必要となるお子様は、利用対象にはなっていないが、その可能性があり得ると想定し、職員間で共通理解したうえで、必要な場合はサービス計画に記載するようにする。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、対応がされているか	5			食物アレルギーの有無について保護者に記載をもらい、一覧にまとめている。調理実習などをする際には事前に確認をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1		事例集は作成していないが、法人全体で事例を共有している。